

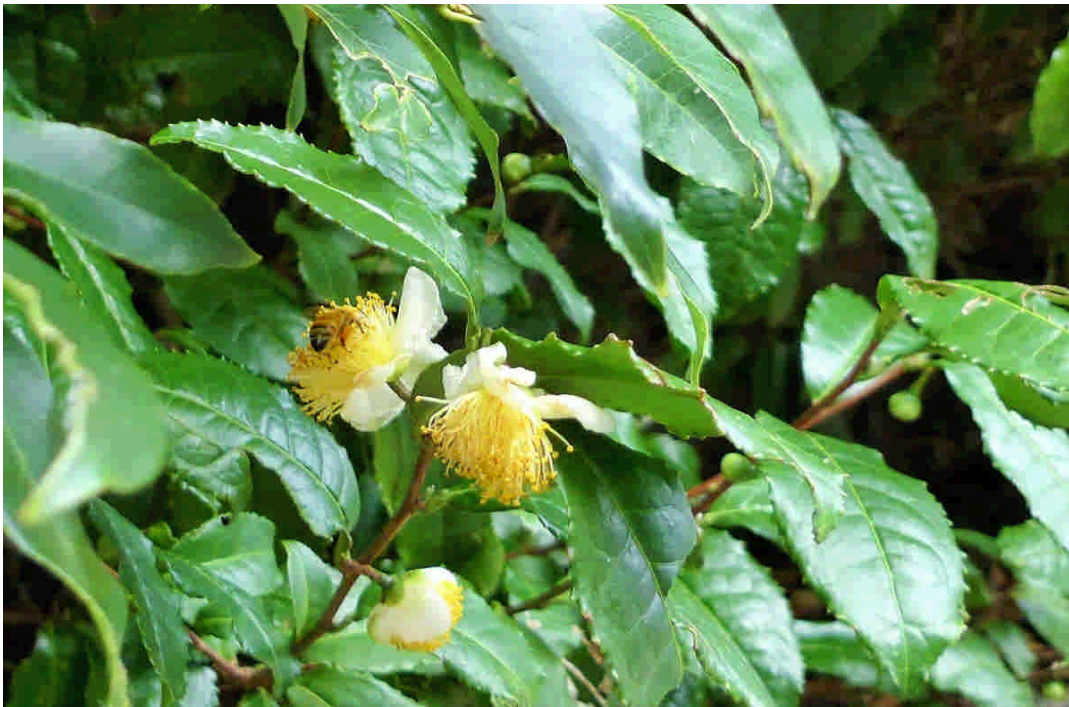
会員ニュース

2019.10(新-103号)
日本電気管理技術者協会
事務局編集

今年は秋たけなわを迎えて、様々なことが進行中です。台風の後片付けが始まったばかりというのに、大臣は早々に交代し、マラソンはどっかへ行ってしまいます。

これからは空気も乾燥し、インフルエンザの季節、皆様におかれましては朝晩の気温の変化に気を付けてお過ごしくださいませ。

まだ暮れでもあるまいに妙に世間が気忙しい、と嘆く事務局より「会員ニュース(103号)」をお届けいたします。



(2019年10月、お茶の花でお仕事中のミツバチ)

1. 10月3日、電力安全課のHPに「『電気事故速報値』を更新しました。」が掲載されました。

恒例の「電気事故速報値」の更新です。

関東東北産業保安監督部 管内での「感電死亡事故」0件は、9月も継続されていますが、停電波及事故の件数が台風の影響が若干増加傾向にある様です。

会員の皆様におかれましても、どうぞ「ご安全に！」業務の遂行をお願い申し上げます。

詳細は、添付資料「電気事故速報値(019年.9月末)」をご参照ください。

2 . 10月1日、経産省のHPに「電力安全小委員会合同電力レジリエンスワーキンググループを再開します」が掲載されました。

経済産業省は、電力分野における、令和元年台風15号において発生した長期停電及びその復旧プロセス、その他課題となった事項について検証を行うため、「電力レジリエンスワーキンググループ」を再開することとしました。

とのことです。

10月3日には、電力レジリエンスWG(第5回)が開催され、10月17日に第6回が開催されました。この第6回で「台風15号・19号に伴う停電復旧プロセス等に係る個別論点について」という資料が出されています。

この資料は、かなり詳細で写真等を含んだ分かり易い内容となっていて、被災された設置者様等への説明にも役立つのではないかと考えられます。

詳細は、添付資料「～電力レジリエンスWGを再開します」をご参照ください。

なお、前出の資料「台風15号・19号に伴う停電復旧プロセス等に係る個別論点について」は全文がA4で40P(pdf約4.0GB)とデータが重く添付できません、必要な方は事務局へご請求いただくか、以下のURLから経産省のHPで入手してください。

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/resilience_wg/pdf/006_04_00.pdf

3 . ポリ塩化ビフェニル(PCB)仕様製品及びPCB廃棄物の処分期限が迫っています。

関東東北産業保安監督部管内での「PCB廃棄物」の処分は、「令和4年3月31日までに完了するようにしてください」とのことです。

会員の皆様も処分期間をお忘れなくご対応ください。

なお、事務局では、11月8日の「PCB処理説明会」に参加の予定です。

説明会の資料を入手いたしましたら、皆様にもお知らせします。

関東東北産業保安監督部管内自家用電気工作物電気事故速報値

令和元年9月30日時点

平成30年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人身	感電死亡	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
	感電・アーク等負傷	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (13)
電気火災		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
停電波及		2	10	4	5	20	7	15	2	6	4	7	4	86
主要電気工作物破損等		4	5	0	2	3	1	1	2	1	1	7	2	29
発電支障 件数		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
件数		8	15	5	9	27	9	16	8	9	6	14	6	132

平成31年度・令和元年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人身	感電死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							0 (0)
	感電・アーク等負傷	0 (0)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (4)							8 (8)
電気火災		0	0	0	0	0	0							0
停電波及		5	8	7	11	6	29							66
主要電気工作物破損等		4	5	3	0	0	13							25
発電支障 件数		0	1	1	0	0	0							2
件数		9	16	11	12	6	46							100

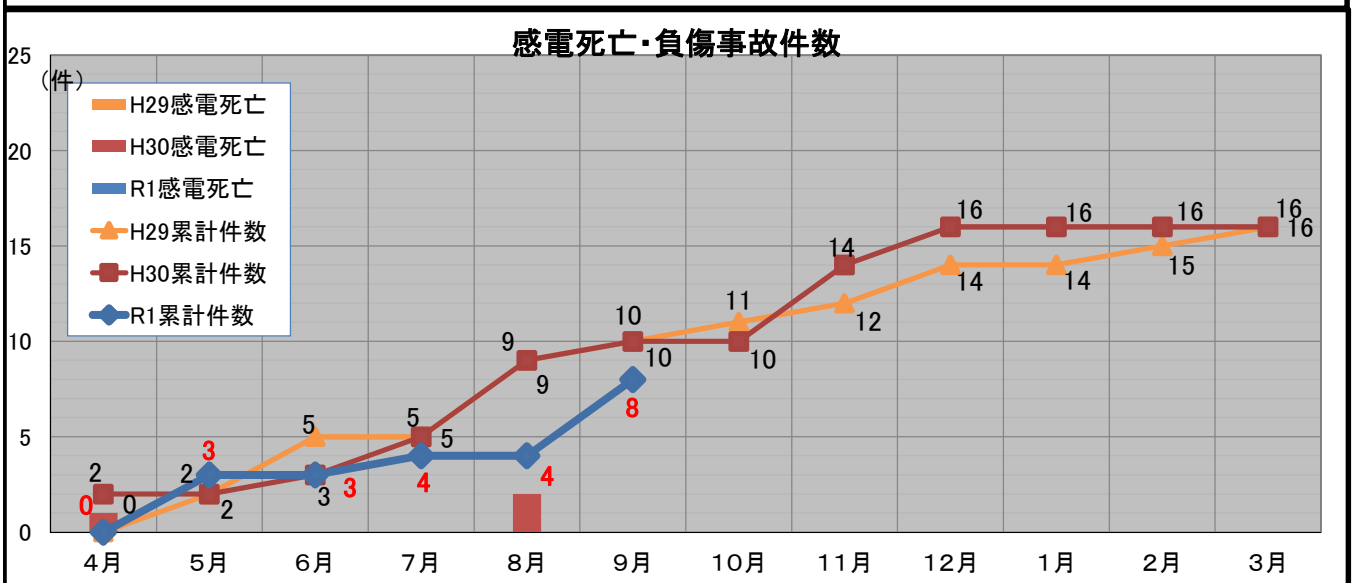
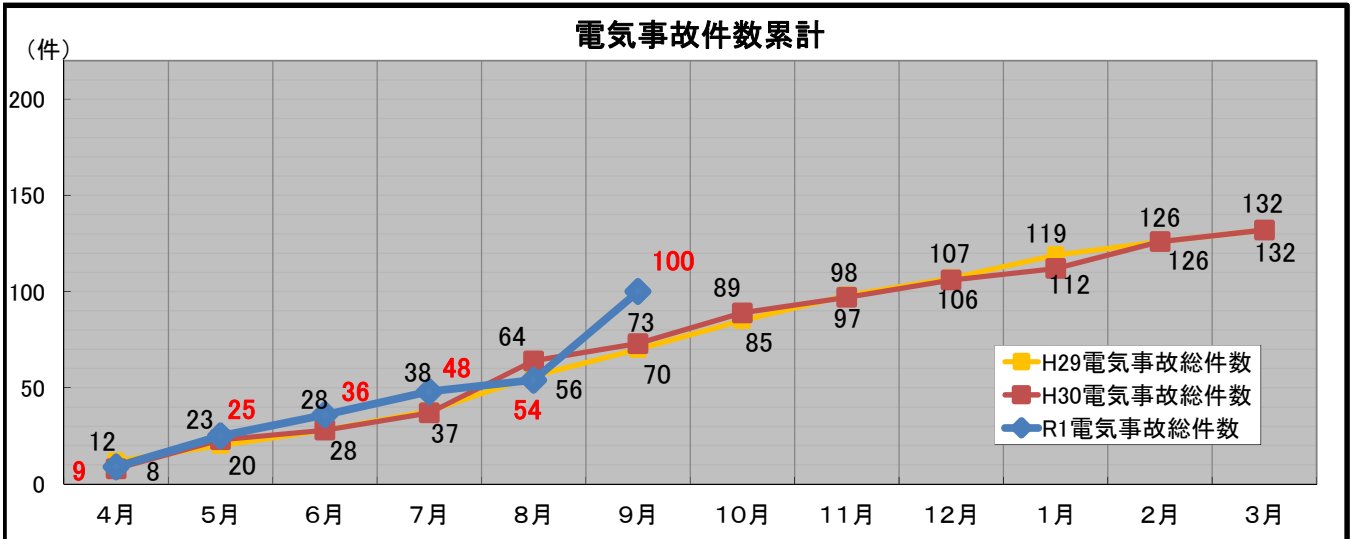
※1 1件の事故で複数の事故分類に該当する場合、各分類でカウントしますが、事故件数としては1になります。

(平成30年12月・令和元年5月に1件ずつ、「主要電気工作物破損等」、「発電支障」に該当する事故がありましたが、事故件数合計としては1件とカウントしています。)

※2 発電所における事故件数も含まれます。

※3 人身の()は被害者数を表しています。

※4 本値は事故速報時点であるため、確定値ではありません。自然現象等による事象も含まれます。



**経済産業省**

Ministry of Economy, Trade and Industry

総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会 産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 電力安全小委員会 合同 電力レジリエンスワーキンググループを再開します

2019年10月1日

▶エネルギー・環境

経済産業省は、電力分野における、令和元年台風第15号において発生した長期停電及びその復旧プロセス、その他課題となった事項について検証を行うため、「電力レジリエンスワーキンググループ」を再開することとしました。

1. 再開の趣旨

令和元年9月9日早朝、関東を直撃する台風としてはこれまでで最強クラスとされる台風15号が東京湾から千葉市付近に上陸し、千葉県内を縦断しました。19地点で観測史上1位の最大瞬間風速を記録するなど、関東地方を中心に猛烈な風や雨をもたらし、9月9日7時50分には関東広域で最大約93万軒の停電が発生するなど千葉県を中心とした広域に甚大な被害を与えました。

今般の災害において発生した長期停電及びその復旧プロセス、とりわけ迅速かつ正確な被害状況と復旧見込みの把握と国民への情報発信等の課題について、政府全体で検証を行い、改善すべき点を抽出するため、内閣官房に「令和元年台風第15号に係る検証チーム」が発足し、年内に最終報告を取りまとめることとされております。

政府全体の検証のうち、電力分野については、経済産業省における検証内容を報告することとなっております。そのため、防災対策や電力系統といった第三者の専門家の方々に、今回の停電対応における被害状況の把握や復旧見通しの提示等の課題を客観的かつ徹底的に御議論いただくべく、「電力レジリエンスワーキンググループ」を再開することとしました。

2. 電力レジリエンスワーキンググループ(第5回)の概要

日時:令和元年10月3日(木曜日)18時~20時

場所:経済産業省本省地下2階 講堂

議事:台風15号に伴う停電復旧プロセス等に係る検証について

本ワーキンググループは多くの方にご覧いただくためインターネット配信を行います。一般傍聴を希望する方はインターネット配信をご覧ください。
また、本ワーキンググループの資料や議事要旨等は、経済産業省及び資源エネルギー庁のHPにおいて公表します。

[インターネット配信\(経済産業省LIVE_1\)](#)[資料公表\(経済産業省HP\)](#)**担当**

- 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部
電力基盤整備課 電力基盤整備課長 曳野

担当者:立石、友澤、龍道(りゅうどう)、藤本

電話:03-3501-1511(内線 4761)

03-3501-1749(直通)

03-3580-8485(FAX)

- 経済産業省 産業保安グループ 電力安全課長 田上
担当者:古川、佐藤、篠崎

電話:03-3501-1111(内線 4791)

03-3501-1742(直通)

03-3580-8486(FAX)